

「東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故を振り返り 3.11 に学ぼう」

活用の手引き

福島県教育委員会



福島県教育委員会では、毎年3月11日を機会に、各学校において防災教育や放射線教育の授業等を積極的に行うことを勧めているところです。

そこで、このたび、東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故（以下、原発事故）について、自他の命を守るために当時の状況等を学び、災害について考え続けていく児童生徒に育ってほしいという願いから、「東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故を振り返り 3.11 に学ぼう」（以下、「3.11 に学ぼう」）を作成しました。

防災教育や放射線教育の授業だけではなく、始業前や帰りの時間等においても「3.11 に学ぼう」を活用し、児童生徒が防災について改めて考えることができるよう御指導ください。（震災に対する児童生徒の心の状態に配慮の上、御活用ください。）

活用例 1

東日本大震災を知る

【小学校】



① 「3.11に学ぼう」の写真から、この日、福島県に何が起こったか分かりますか。



② 地割れや建物の様子から、経験したことのないほどの大きな地震が起きたと思います。



③ 大きな地震の被害は、県内のあちこちでありました。学区内でも通学路のブロック塀が崩れたり、水道が止まって給食が作れなかったりしました。



④ 大変な災害だったんですね。道路や建物が崩れている中を避難するのは、とても怖かったのではないかと思います。



【中学校・高等学校】



① 「3.11に学ぼう」にある情報では、地震規模や津波の高さが載っていますが、どのようにして災害が起きたか想像できますか。



② 災害のニュースをよく目にしますが、このような大規模な災害は記憶にありません。でも、三陸沖の大陸プレートと海洋プレートのひずみがとても大きかったのではないかと思います。



③ プレートに着目したのはすばらしいです。この津波が、福島第一原子力発電所にも到達しました。その後、原発や県内がどうなっていたのか説明できますか。

④ 大津波により、原発では原子炉を冷却する電源を失い、水素爆発が起きました。水素爆発で、放射性物質が飛び散ったことは分かりますが、県内の様子はよく説明できません。



活用例 2

避難行動を考える

児童生徒が、地震や津波による被害状況の画像を基に、学校や学校以外で地震や津波が発生した場合の避難行動や備えについて、日頃から考えたり意識したりできるように、話し合う機会を設定していきましょう。



活用例 3

放射線について科学的に理解する

「3.11に学ぼう」にあるように、原発事故が起きた当時から現在までの状況、放射線に関する科学的な理解について、児童生徒がどこまで捉えているかを確認した上で、その実態に合わせた学習へと導いていきましょう。



活用してみよう

福島県教育委員会作成指導資料等

【ふくしま放射線教育・防災教育指導資料 活用版】



平成29年3月

「放射線等に関する指導資料 第5版」と「防災教育指導資料 第3版」の内容をそれぞれ抜粋し1冊にまとめました。放射線教育の授業の導入で活用できる動画やワークシート等が入

ったDVDも付属。

【ふくしま放射線教育・防災教育実践事例集】



平成31年3月

実践協力校や関係機関による実践を、多数掲載しています。



義務教育課 放射線教育・防災教育関連情報ホームページ

これら各指導資料や実践事例集をはじめ、放射線教育や防災教育についての各種指導資料等をホームページで紹介しています。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/gimukyoiku29.html>

令和3年2月時点

関係機関ホームページリンク

危機管理課



「そなふくノート」や「教本」をダウンロードできます。

災害対策課



東日本大震災の被害状況等のデータや「ふくしまマイ避難ノート」を見ることができます。

河川計画課



県内各地の「水災害情報図」を見ることができます。

砂防課



土砂災害の種類や命を守るための情報を動画で見ることができます。

日本赤十字社福島県支部



東日本大震災に関する子どもたちの作文紹介や各種研修・講習会等について見ることができます。

東日本大震災・原子力災害伝承館



施設案内や施設で実施可能な内容等を見ることができます。

コミュタン福島



施設案内や施設で実施可能な内容等を見ることができます。

磐梯山噴火記念館



記念館での火山学習プログラムや出前授業について見ることができます。

環境再生プラザ



除染・放射線学習ツールや動画、資料等を見ることができます。

日本科学技術振興財団



放射線教育支援サイト「らでい」で教材や実践等を見ることができます。

令和3年2月時点

(主管 義務教育課)

